

2. 学会発表など

・小嶋ひかる, 香田真希子, 西尾雅明: 精神障害者に対する新しい就労支援のアプローチ. 職業リハビリテーション研究発表会, 幕張, 平成17年11月30日.

・小嶋ひかる: 精神障害を抱える人への就労支援～アメリカにおけるIPS(個別職業紹介とサポート)の実践とACT-Jでの導入. 日本精神障害者リハビリテーション学会, 大阪, 平成17年12月4日.

・小嶋ひかる: ACT-JにおけるIPSの実践 - ACT-J 臨床チーム Employment Specialist (ES) -. 国立精神・神経センター精神保健研究所平成17年度医学課程研修, 市川, 平成18年2月15日.

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

表1 ACT-IPS対象者の基本属性

N=33		人数	割合%
性別	男性	15	45.5
	女性	18	54.5
年齢	20歳台	15	45.5
	30歳台	7	21.2
	40歳台	9	27.2
	50歳台	2	6
結婚	有り	7	20.6
	無し	26	78.8
家族	同居	23	69.7
	単身	10	30.3
最終学歴	中学卒	3	9.1
	高校卒	17	51.5
	専門卒	5	15.2
	短大卒	1	3
	大学卒	6	18.2
	大学院卒	1	3
主診断名	統合失調症	23	69.7
	気分障害	7	20.6
	その他の精神障害	3	9.1
副診断有り	知的障害	1	
	分裂感情障害	1	
初発年齢	11～19歳	9	27.3
	20～29歳	15	45.4
	30～39歳	7	21.2
	40～49歳	2	6
平均	23.7歳(SD7.5)		
罹病年数	5年以下	4	12.1
	5～10年	16	48.5
	11～15年	8	24.2
	16～20年	3	9
	20年以上	2	6.1
平均	10.5年(SD4.8)		
過去の職歴	有り	29	87.9
	無し	4	12.1

表2 ACT-IPS対象者の過去の医学的情報

	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値	最頻値
加入前1年間の入院日数	N=33	56.4日	64.5	0	197	41	0
加入前1年間の入院回数	N=32	0.76回	0.97	0	4	0.5	0
退院後2週間GAF	N=33	48.8点	8.4	38	70	48	42
BPRS総点	N=33	15点	5.7	3.2	26	9	15
ACTエントリー時の入院日数	N=33	75.9日	70.4	10	364	57	42

表3 就労支援の成果

	N	平均値	標準偏差	中央値	最頻値	最小値	最大値
一般就労した人数	13						
就労した日数(日)	10	56.6	49.8	59	82	1	144
ACTによるサービス提供総時間(時間)	13	56.08	36.4	61	6	6	120
就労支援サービス時間数(時間)	13	20.92	20.96	13	1	1	72
就労支援サービスの件数(件)	13	33.69	23.77	25	22	1	77
サービス全体の就労支援の割合(%)	13	36.23%	17.46	35.8	10	10	61.2
平均時給(円)	11	914.54	212.61	820	800	710	1400
就労した回数(回)	13	1.69	0.75	2	1	1	3

表4 就労群と非就労群が受けた就労支援サービス

	n	就労支援サービス時間数		就労支援のサービス件数		就労支援の占める割合	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD
就労群	13	20.9	21	24.1	23.8	36.2	17.5
非就労群	20	12.1	15.1	33.7	28.8	17.5	15.9

表 5 就労の有無に影響を及ぼす要因の重回帰分析結果

変数	非標準化係数 $\beta$	標準誤差	標準化係数 $\beta$
GAF得点	-0.001	0.011	-0.110
就労割合	0.014	0.004	0.534**
BPRS総点	-0.013	0.013	-0.163
エントリー時の入院日数	-0.001	0.001	-0.082
性別	-0.298	0.145	-0.303*
結婚の有無	0.310	0.194	0.259

$R^2=0.50(N=33, P<.01)$

\*\* $P<.01, *P<.05$

表6 BPRSを従属変数, 就労の有無を独立変数としたt検定の結果

	BPRS		
	平均点	標準偏差	t
非就労	16.6	5.9	2.3
就労	11.9	5.4	

\* $P<.05$

表7 GAFを従属変数, 就労の有無を独立変数としたt検定の結果

	GAF		
	平均点	標準偏差	t
非就労	45.7	6.9	-2.9
就労	53.6	8.5	

\* $P<.05$

表8 エントリーの入院日数を従属変数, 就労の有無を独立変数としたt検定の結果

	エントリーの入院日数		
	平均点	標準偏差	t
非就労	45.7	6.9	2
就労	53.6	8.5	

\* $P<.10$

表9 就労の割合を従属変数, 就労の有無を独立変数としたt検定の結果

	就労の割合		t
	平均点	標準偏差	
非就労	17.5	15.9	-3.2
就労	36.2	17.5	

\*P<.05

表10 就労の有無と性別の $\chi^2$ 検定結果

就労の有無	性別	
	女性(N=18)	男性(N=15)
非就労	8	12
就労	10	3

$\chi^2 = 4.33, P < .05$

表11 就労の有無と結婚の有無の $\chi^2$ 検定結果

就労の有無	結婚	
	している	していない
非就労	18	2
就労	8	5

$\chi^2 = 3.8, P < .10$

表12 サービス満足度調査協力者の基本属性

		全体	就労群	割合%	非就労群	割合%
性別	男	8	1	5%	7	33%
	女	13	6	29%	7	33%
年齢	20~29歳	12	3	14%	9	43%
	30~39歳	3	2	10%	1	5%
	40~49歳	5	2	10%	3	14%
	50~59歳	1			1	5%

---

厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業  
精神障害者の一般就労と職場適応を支援するためのモデルプログラム開発に関する研究  
研究体制 (50音順)

主任研究者：西尾雅明<sup>1)</sup>

分担研究者：伊藤順一郎<sup>1)</sup>、大島巖<sup>2)</sup>、堀宏隆<sup>3)</sup>、松為信雄<sup>4)</sup>

研究協力者：磯谷悠子<sup>2)</sup>、伊藤史恵<sup>5)</sup>、小川ひかる<sup>1)</sup>、倉知延章<sup>6)</sup>、香田真希子<sup>1)</sup>、  
近藤昭子<sup>7)</sup>、鈴木友理子<sup>1)</sup>、園環樹<sup>2)</sup>、立石宏昭<sup>8)</sup>、久永文恵<sup>1)</sup>、  
堀内健太郎<sup>1)</sup>、渡辺三郎<sup>9)</sup>

事務担当：鶴城恵美子<sup>1)</sup>、太田理津子<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 国立精神・神経センター精神保健研究所、<sup>2)</sup> 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、

<sup>3)</sup> 福島障害者職業センター、<sup>4)</sup> 東京福祉大学、<sup>5)</sup> 市川市障害者就労支援センターアクセス、<sup>6)</sup> 九州ルーテル大学、

<sup>7)</sup> 市川市南八幡メンタルサポートセンター、<sup>8)</sup> 広島国際大学、<sup>9)</sup> 財団法人正光会

---

---

厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業  
精神障害者の一般就労と職場適応を支援するためのモデルプログラム開発に関する研究

平成 17 年度総括・分担研究報告書

発行日：平成 18 年 4 月

発行者：「精神障害者の一般就労と職場適応を支援するための

モデルプログラム開発に関する研究」主任研究者 西尾雅明

発行所：国立精神・神経センター精神保健研究所 社会復帰相談部

〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1

国立精神・神経センター国府台病院気付

電話：047-375-4758 FAX：047-375-4773

---